

令和6年度 第1回 上市町総合教育会議 会議記録

日 時 令和6年6月3日(月)
10時30分～
場 所 上市町役場2階第1会議室

[出席者] 町長、教育長、教育委員(4名)
事務局(総務課2名、教育委員会事務局2名)

1 開会

2 町長あいさつ

義務教育学校の教育理念は、学校の整備基本計画を策定する中でも大きなウエイトを占める大切なものである。本日の協議を経て、明日開会の町議会6月定例会の全員協議会において報告したいと考えている。

3 議事

義務教育学校教育基本構想(案)について

[事務局より説明]

(意見等)

- ・ 教育理念の「仰剣立志」は、上市町にふさわしい言葉であると思う。
- ・ 教育目標にある「しなやか」というフレーズは、教育理念にある「立志」とギャップがあるのではないか。
- ・ 教育目標に「人材を育てる。」とあるが、この部分は「人材の育成」でよいのではないか。
- ・ 抽象的すぎないように、誰が見ても聞いてもすぐに理解ができる言葉が良いのではないか。
 - ひとつの言葉から受け取るイメージは人それぞれ違うかと思うが、たくましいだけではなく、竹のように少々のことでは倒れない、そのようなしなやかさも大切であると考えた。ただ、教育目標の説明として下段にある文章にも「しなやかに」と表現していることから、教育目標は分かりやすいように「ふるさとに誇りをもち、未来を生きぬく人材の育成」としたい。
- ・ 教育目標は、児童生徒に向けてのものなのか、学校としてのものなのかによって表現が違うのではないか。子どもたちにフィードバックしていくためにもなるべく難しい言葉は使わない方が良いのではないか。
 - 教育委員会(学校)としての目標である。これをもとに学校では児童生徒向けに合言葉などを作っていく。
- ・ 未来に向けた何か目標をもってほしい。これからの子どもたちに求められる力として、

「物事にねばり強く挑戦する力」も必要ではないか。

- 「挑戦する力」は、次のステップに新しい自己を創造するということにつながる言葉だと思う。
- 頑張れば成果がでるかもしれない。そのことが自己肯定感を育むことにもなる。ねばり強くやっていくための励ましが必要と思う。
 - 教育目標の説明文書に加えることとしたい。

4 閉会